

米づくり情報 第8号

令和6年8月20日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(8月20日)

移植日	項 目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
6月18日	夢しずく	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月15日 出穂期:8月17日 -2			[気象] 8月13日~8月19日まで ◆平均気温…平年より2.2℃高い(30.5℃) ◆日照時間…長い(平年比140%) ◆降水量…極端に少ない(平年比1%) [生育] ◆草丈 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」はやや高く、 「さがびより」は高い。 ◆茎数 全ての品種でやや多い。 ◆葉齢 「夢しずく」の主稈葉数は平年並み (主稈葉数:本年13.5、平年13.4)、 葉齢は「ヒノヒカリ」「さがびより」 「ヒヨクモチ」でやや進んでいる。 葉耳間長は「ヒノヒカリ」で+13.6cm、 「さがびより」で-2.3cmとなっている。	
	ヒノヒカリ	本年 平年 平年比(差)	95.7 91.5 105	472 455 104	14.6 14.2 +0.4	36.2 33.3 +2.9	◆葉色 「ヒノヒカリ」は濃く、「さがびより」でやや濃い。「ヒヨクモチ」は平年並み。
6月20日	さがびより	本年 平年 平年比(差)	93.9 85.5 110	460 452 102	14.6 14.4 +0.2	37.4 36.3 +1.1	
	ヒヨクモチ	本年 平年 平年比(差)	78.4 74.8 105	580 550 105	15.2 14.7 +0.5	36.0 35.9 +0.1	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「夢しずく」の出穂期は8月15日で平年より2日早かった。 ○ 「ヒノヒカリ」は間もなく出穂期を迎える。葉耳間長から判断すると「さがびより」は10日後(8月30日頃)に出穂期を迎える。 ○ 「ヒヨクモチ」等でコブノメイガの成虫が多く見られ、被害葉も多数見られた。 						

注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/24、播種量 湿籾 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/27 播種量 湿籾 180g/箱)

2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)

「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)

3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、

やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。

5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く

年次を対象にした、各項目の単純平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0(7/31)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/9)	3.0(8/6)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0(8/14)	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/12)	4.0(8/16)	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

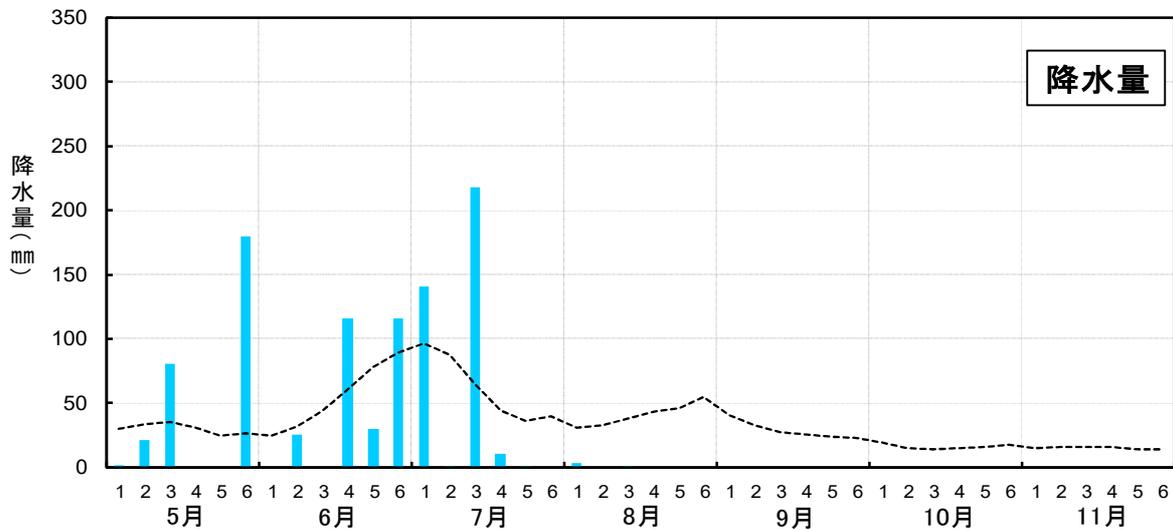
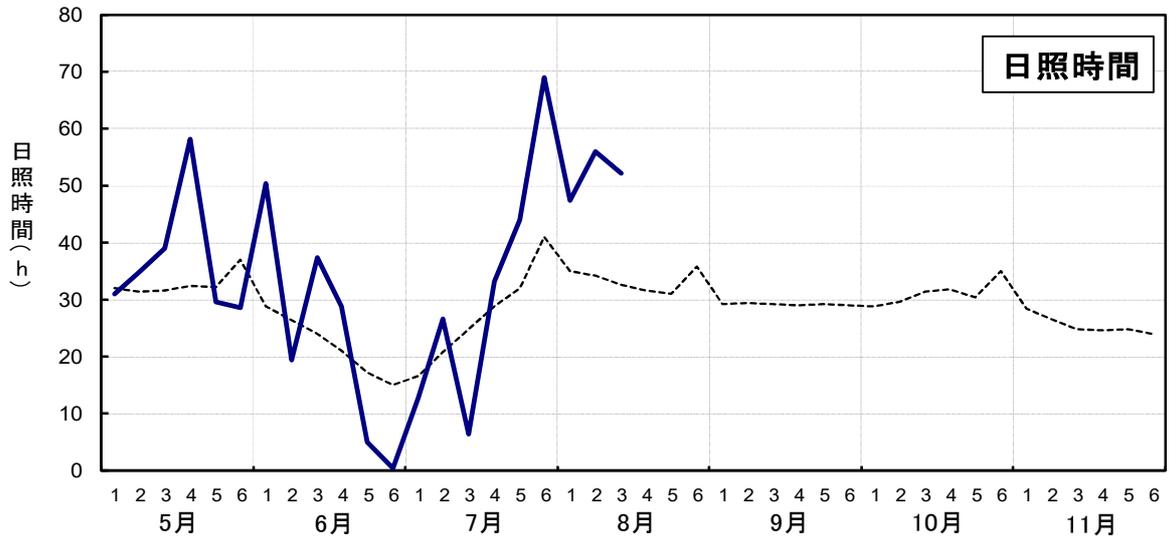
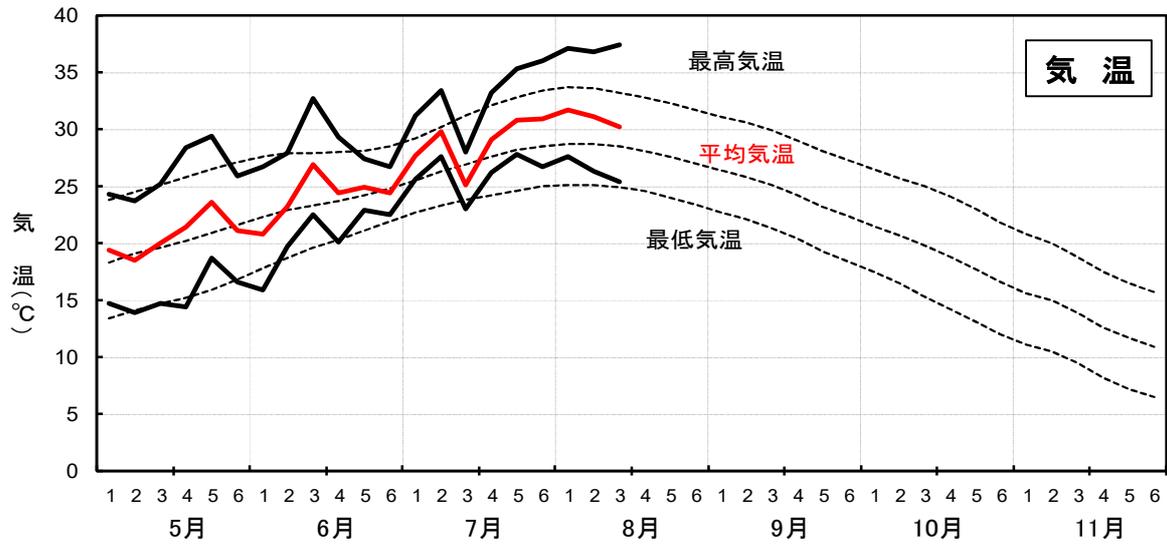
【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成期(主茎幼穂長 1mm)			出穂期		
	本年(平年差)	前年	平年	本年(平年差)	前年	平年
夢しずく	7/28(±0)	7/28	7/28	8/15(-2)	8/17	8/17
ヒノヒカリ	8/2(-2)	8/7	8/4	未	8/27	8/27
さがびより	8/8(-1)	8/11	8/9	未	9/1	9/1
ヒヨクモチ	8/14(±0)	8/15	8/14	未	9/4	9/5

令和6年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当



●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)よりご確認ください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>